

令和6年度 マチフル地域連携推進会議 議事録

事業所名	マチフル			
サービス種別	共同生活援助（グループホーム）			
開催日	令和6年9月28日（土）			
開催場所	かつらぎ町笠田公民館佐野分館			
出席者	利用者	2人	利用者家族	2人
	地域の代表者	2人	福祉に知見のある人	1人
	市町村の担当者等	3人	事業所	3人

- 出席者（会議の構成員）紹介
- 個人情報の取扱い及び写真（動画）撮影についてのお願い

1. 地域連携推進会議の概要及び目的について

- ① 令和6年度障害福祉サービス報酬改定
- ② 地域連携推進会議の概要及び目的
- ①②について説明を行い、意見・質問等はなかった

2. マチフルの概要について

- ① グループホームの制度
- ② マチフルの概要
- ③ マチフルの支援方針 他
- ①～③について説明を行い、意見・質問はなかった

3. 運営状況の報告

- ① 平均利用者数算出表を用いて稼働率を報告
- ② リスクマネジメントの取組みとして、事故・ヒヤリハット件数及び分析を報告
- ③ 業務継続計画（BCP）の策定状況を報告
- ①について、以下の質疑応答があった
家族としては外泊して自宅で過ごす時間も大切にしたいと思うが、事業所としては稼働率が下がり収入が減ることを知った。どう考えると良いか？
⇒ 稼働率は、普段家族等に公表するものではなく事業所の運営上の目標値として活用しています。事業所の方針によって異なると思いますが、マチフルでは外泊の制限等は設けず、個々の希望に応じて利用していただいている

4. 利用者の日常生活の様子

- 事業所の魅力発信用に作成した動画を観てもらい、日常生活の様子を紹介した

5. 意見交換・質疑応答

- 以下の意見・感想等があった

【地域の関係者】

- 日ごろから顔を見ることが大事
- 地域の活動に参加してもらうことが一番
- 毎年秋祭りや清掃で交流しているが、もっと参加してコミュニケーションを取ってほしい
- 地区も高齢化しているので、一緒に暮らせる街づくりをしていければと思う
- 顔を合わせたらまずあいさつすることが大事だが、あいさつしても返ってこない。一番基本的なことだと思う

【市町村の障害福祉担当者等】

- グループホームで暮らしている人の様子を知れて良かった
- 地区にグループホームができてもまだまだ交流の場が少ない
- グループホームは各個人がバラバラに活動しているとイメージしていたが、食事や余暇等一緒に暮らしている感じがして良かった
- 外部の目を入れる、日ごろの様子を知ってもらうという取組みは素晴らしいと思う
- 金銭管理や訪問でサポートさせてもらっている利用者の様子が知れて良かった
- 動画での日常生活の様子の紹介が分かりやすくてとても良かった
- 動画づくりが凝っていて見せ方が上手

【利用者家族】

- 息子が地域の方とあいさつや話をしているのを見て嬉しくなった
- 他の入居者にも良くしてもらっている
- 本人にとっては温かい居場所でありがたい
- 高齢で持病もあるが長く暮らしてもらいたい
- 災害対策の話を聞き、良く考えてもらっていると感じた

【福祉に知見のある人】

- グループホームの歴史はわずか35年と浅い
- この会議ができるることは良いことだが利用者個人の生活とプライバシーがある中で、質の担保と制約のバランスが大事になる
- 地域との関係性では、利用者はもちろんが職員が率先して地域であいさつ等をしていくことも大事。職員が見られているという意識を持ち、利用者が苦手な部分をフォローできる形を取れると良い

6. マチフルの見学

- 見学後、以下の意見・感想等があった

- 良いところで良い仲間と暮らしていると思う

- 一人ひとりの状況に合わせてサポートされていると感じた
- 利用者が、ここでの生活が嫌じゃないと話されていた。安心する場になっているのだと思った
- グループホームの生活ではゆとりや清潔さが大事だと思った
- 動画とはまた違う印象を受けた。ここでの生活が確立されていると感じた
- 建物内がきれいで動線も良く考えられている
- 5年近く経つがきれいに維持されている。環境が大事だと思う
- 入居者同士の雰囲気がとても良いと感じた

以上